



1. 第4代よねやま親善大使が決定！

「第4代よねやま親善大使」には26人の学友から応募があり、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考の結果、下記3人の方に決定しました。任期は2020年7月から2年間で、日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事でのスピーカーとしてぜひお声掛けください。親善大使に関するご連絡は当会事務局広報担当まで。



カレン・ジュリア・ウォーターズ

(オーストラリア/1992-94/京都南RC)
(株)Global Waters 代表取締役社長、Burleigh Heads RC(第9640地区)会員。自らの事業では、日本の子どもたちへの国際理解教育と奉仕の心を育てることに尽力。2019年度より第2650地区米山学友会会長。



アドゥアヨム・アヘゴ, アクエテビ

(トーゴ/2014-15/新発田城南RC)
(株)ドリーム・ジーピー 研究員。アフリカで不足する義肢装具の開発研究に尽力。日本の義肢中古部品を活用した義肢をアフリカに提供する活動も。自ら手がけた義肢で東京パラリンピックにトーゴの選手を出場させる夢が進行中。

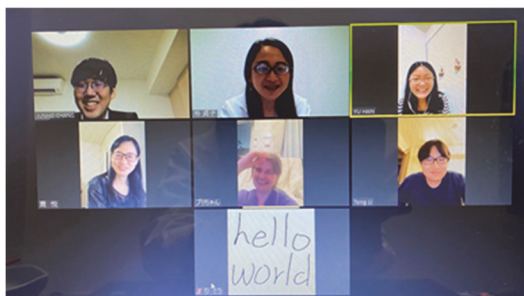


李 昱昊 (リ イッコウ)

(中国/2016-17/東京銀座RC)
法律事務所にて国際法務に従事し、海外に進出する日本企業をサポートする一方、日中交流団体代表として両国の若者の交流促進に尽力。2018-20年度第2750地区米山学友会副会長、2019-20年度東京西RAC会長。

2. オンラインで奨学生と交流！—東京米山友愛RC—

新型コロナウイルスの感染拡大により、今年のゴールデンウィークは“Stay Home”の呼びかけのもと、オンラインでの交流が奨励されました。4月から新しい米山奨学生を迎えた世話



クラブからも、奨学生との交流にオンラインを活用した事例を報告いただきました。

日本在住の米山学友を中心に設立され、今年創立10周年を迎えた東京米山友愛RC(第2750地区)では、5月3日に新規米山奨学生の張準好さんを迎え、オンライン会議ツールZoomを使って、クラブで奨学生へのオリエン

テーションを実施。当日は、張さんのカウンセラーで米山学友の朴貞子さん、クラブ支援奨学生の賈悦さんとカウンセラーのブリッタ・ズルツさん、同クラブでお世話した学友の韓瑜さんと李桐さんも参

加し、米山記念奨学事業についての説明や自己紹介・近況報告、「オンライン飲み会」で、終始笑いの絶えない時間を満喫しました。朴さんによると、同クラブの4月29日のオンライン例会には、現役奨学生の張さん、賈さんと共に、以前クラブでお世話した米山学友もウズベキスタンから参加してくれたそうです。

3. 寄付金速報 — 減少幅広がる —

4月までの寄付金は前年同期と比べて4.0%減（普通寄付金:1.8%減、特別寄付金:5.1%減）、約4,900万円の減少となりました。今後の見通しがなかなかつかないこともあり、先月同期比に比べ、より減少幅が広がりました。厳

しい状況下にも関わらずご寄付をいただいた皆さまへ、厚く御礼申し上げます。これからも新型コロナウイルスとの闘いは続きそうです。引き続き米山記念奨学事業をご支援下さいますようお願い申し上げます。

4. 学友によるマスク支援続々

ここ数日、全国的なマスク不足が解消されつつあるという報道を目にするようになりましたが、これまでに多くの米山学友が続々と、母校やロータリークラブへ“恩返しマスク”を寄贈しています。

神戸大学へ 大学附属病院などでマスクが不足しているとの声を受け、神戸大学留学生西日本同窓会の会長をつとめる米山学友・陳林さん（中国/2003-05/芦屋RC）ら元中国留学生が4月21日、大学に2万5,000枚のマスクを寄贈。

慶應義塾大学と世話クラブへ 中国・上海の元留学生ら22人と、上海三田会・旧友会会員78人からの寄付金などにより、中国でマスク6万枚を調達し、4月中旬に大学へ届けました。その一人である米山学友、肖慧潔さん（2008-09、現在：東京米山ロータリーEクラブ会員）は、奨学生時代の世話クラブ・東京白金RCや、既にクラブを退会したカウンセラーにもマスクを



送付。同クラブでは希望する会員・現米山奨学生・交換留学生（候補）に配布したほか、約1,000枚を地元の医療機関へ寄贈する予定です。林観照会長は「今回、思いがけず昔の米山学友からマスクを寄贈いただき、大変感謝しています。米山奨学事業の絆が形として現れたと

思います。これからも奨学生をきちんとサポートしてまいります」と語っていただきました。

台湾学友会 関西米山学友会元会長・何玉翠さんが発起人となったマスクの共同購入に、日本国内の学友個人や学友会、ロータリアンら多くが参加しました。台湾米山学友会も会員からの寄付でこれに出資し、購入したマスク3万枚を北海道名寄市役所へ寄贈するほか、同学友会の郭錦堂理事長が所属する台中文心RCが日本の相模原中RCと豊田中RCへそれぞれ10,000枚を寄贈予定です。

ロータリアンからも感謝の声 全国に緊急事態宣言が出された夜、第2640地区元地区米山奨学委員長の京谷知明氏のもとへ米山学友から

「何か出来ることはないか」と打診がありました。マスク不足の現状を伝えたところ、学友有志がマスク2,000枚を苦心しながら調達し、堺フェニックスRCへ寄贈。同クラブはそれを地元の高齢者福祉施設とクリニックへ、フェイスガードとともに寄付しました。京谷氏は「マスクと一緒に温かい気持ちを受け取り、クラブ一同、感謝の気持ちでいっぱい」と、語っていただきました。



在宅勤務期間延長のお知らせ

緊急事態宣言が5月31日まで延長されたことに伴い、現在実施している事務局の在宅勤務を引き続き継続させていただきます。

【実施期間】5月31日(日)まで ※状況によって期間延長の検討をいたします。

【期間中の問い合わせ対応】原則として、メールにて対応をさせていただきます。詳細は当会HPまで。

